

平成 30 年 9 月 3 日

**仏の国際見本市 MAISON&OBJET (メゾン・エ・オブジェ) 内に
中小機構ブース『Imaginative Materials』を開設。**

開催日：平成 30 年 9 月 7 日（金曜）～11 日（火曜） 5 日間、会場：パリ ノール ヴィルパント見本市会場

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区、理事長：高田坦史）は、世界の高級インテリア市場を牽引しているフランスの国際見本市「MAISON&OBJET（メゾン・エ・オブジェ）」において、中小機構ブース『Imaginative Materials』を設け、日本の優れたライフスタイル商品の海外販路開拓を支援します。

中小機構ブースには、海外進出に積極的に取り組む中小企業 13 社が出展します。13 社は、プレスクリプター（※）の「他には見られないオリジナルなインテリアを実現する」という課題に応える資材や素材を出品し、世界の高級インテリア市場での販路開拓を目指します。

（※） 富裕層の邸宅や高級ホテルなどの内装をプロデュースし、資材購買決定権を持つインテリアデザイナーや建築家などのこと。

中小機構は、プレスクリプターをはじめとする欧州バイヤーとの商談機会創出と、販路開拓の足掛かりを得るための支援を通じて、中小企業の更なる事業成長を促進します。

[開催概要]

- ・ 開催日：9 月 7 日（金曜）～11 日（火曜）
- ・ 会 場：パリ・ノール・ヴィルパント見本市会場
- ・ 中小機構ブース：6 ホール TODAY SIGNATURE PROJET セクター

<中小機構について>

中小企業基盤整備機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として様々な中小企業支援を行う経済産業省所管の独立行政法人です。全国 9 ヶ所の地域本部を拠点として、中小企業の事業活動の活性化に向け、創業や新事業展開、販路開拓、海外展開、セーフティネットを含む経営基盤の強化などの中小企業の様々な課題に対し、経営相談、研修、共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

販路支援部販路支援課 （担当者：古来（こらい）、小村）

住所：東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビル 電話：03-5470-1529（ダイヤルイン）

<出展者一覧>

	出展者名	出展（取扱）業種/製品	所在地
1	株式会社加地織物	繊維製品/西陣織	京都市上京区
2	民谷螺鈿株式会社	繊維製品(京丹後)/和装生地	京都府京丹後市
3	安田織物株式会社	繊維製品(京丹後)/和装白絹	京都府与謝野町
4	宮眞株式会社	繊維製品(京丹後)	京都府与謝野町
5	田勇機業株式会社	繊維製品(京丹後)	京都府京丹後市
6	遊絲舎	繊維製品(京丹後)	京都府京丹後市
7	創作工房糸あそび	繊維製品(京丹後)	京都府与謝野町
8	株式会社イーストンテック	硝子製品/テーブル天板等	栃木県塩谷町
9	株式会社 Jiku Art Creation	硝子製品/壁面装飾等	大阪府箕面市
10	アベル株式会社	金属加工品/ステンレス(アベルブラック)	大阪府八尾市
11	株式会社ナガエプリュス	金属加工品/アルミ、錫	東京都渋谷区
12	株式会社ユニオン	金属製品/ドアハンドル	大阪市西区
13	光洋製瓦株式会社	窯業製品/いぶし瓦	兵庫県姫路市

出展者の詳細はこちら : <https://moim.smrj.go.jp/jp/>



<Imaginative Materials のコンセプト>

IMAGINATIVE MATERIALS

日本は国土の約7割を山地が占め、そのほとんどが緑に覆われている自然豊かな国です。私たち日本人は、古代より自然の山林に人の手を加えた里山から生活の糧を得、自然の恵みに感謝する精神生活を送ってきました。

このような精神を反映し、日本では開放的な空間の中に光や風を効果的に取り込むとともに、季節によって柔軟に設えを変えることができる、自然と一体化した建築が発達してきました。そこでは、熟練の技を持つ職人たちが石、土、木、漆、紙、絹などの自然素材に敬意を払い、建築の中に取り込んで上質な空間を生み出してきました。

自然素材を建築に利用する際に日本人が利用してきたのが、石と砂で構成する庭園に宇宙を見出し、方丈の茶室に「市中の山居」を表現する「見立て」の精神です。対象を本来あるべき姿ではなく別のものになぞらえてみる「見立て」は、これらの建築素材の使い方や表情をさらに多様なものとし、洗練されたディテールを実現し、日本人の暮らしを豊かにしてきました。

今日では世界有数の先端技術との組み合わせにより、サステナビリティという現代的な課題を満たしながら、新しい機能と他に見られない表情を同時に実現した建築素材・材料が多く見られます。また、1000年以上の歴史を誇る絹織物の伝統を用いて新しいインテリアファブリックを生み出そうという試みも各地で行われています。